広報
こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷発行編集人 矢部藤三郎

矢代田駅の貨物取扱は廃止か

早くつく貨物のために集約を

国鉄の近代化計画により矢代田駅については、貨物の取扱を廃止するという国鉄の計画であるが、これについて各関係者の意見を掲載しかつみなさんの意見をあおぐものです。

国鉄は他産業にくらべ近代化が遅れている実情で、昭和五十年までには蒸気列車をなくすし、近代化を推進している。特急乗入、上越線の電化、復線化で旅客関係は近代化されているが、貨物については近代化されていないので、このために貨物取扱駅を集約して行かなければならない。他産業は近年オートメ化しスピード化されているトラックの場合などは五倍にも伸びているが、国鉄では五割位の伸びでしかないし、平均速度も十九キロである。このため新五カ年計画により貨車を二万一千輌新造するがこの増え方では政府の経済の伸びに間にあわない状態である。また支社管内で一日の貨物申込みは十一万屯であるが、現在の輸送能力は二万屯しかない。申込んでから六日くらいたたないと受付けられない状態である。だから貨車繰りを早くしなければならないし、各駅の発着時間をつめなければならない。汽車を止めるに一駅十分とみて、東京まで三十駅を集約するとし、優に六、七時間へる見込みで取扱駅を集約して、貨物輸送のスピードアップをはかりたい。現在全国で四千駅があるが、駅と駅の間が十キロ以上が適当という学説もあり、国鉄の使命達成のために集約させていただきたい。集約については終戦后一般募集論文でもさけばれていたが、第一次計画では十キロ区間に一駅とし一千九百駅にし、最終的には一千駅位にしたい考えである。第一次計画が完了しても、国鉄全体からみて八%であり支社管内では十九駅を廃止し小口扱いをやめたところもあるし、道路関係、現地をみたりした結果で当矢代田駅は集約ということにさせていただきたい。

集約が実施された上は

一、輸送が早くなる。

二、望みの貨車が得られ発着時間も予定通りとなる。

また運賃の値上りについては輸送費の切下げで返したい。新型貨車により荷造り等の改善をはかり肩荷扱いを機械化することにより十五%の運賃引下げができる。これは運賃を二十七%引き下げたことに必適する。

以上のような点で、集約により各駅の充実と改善をはかり、国民へのサービスをはかりたい。みなさんの御協力をお願いしたいものです。

では一体矢代田駅が集約されたらどのような貨物あつかいとなるだろうか。

一、小口扱

(1)集貨配達付のものは集配受持駅が新津駅となり、集配料の増加分は国鉄が負担しますので、従来と変りません。

(2)駅へ持込んで託送するものまたは駅止のものでも、到着駅で受取るものは矢代田駅では取扱いませんから最寄の駅（当地では新津が近い）を利用することになります。

二、車扱

矢代田駅では取扱いませんから、最寄の駅を利用することになります。

三、手小荷物【チッキ】

従来通り取扱いますが、配達付のものは新津駅から配達となります。

〈新潟支社貨物課長〉

**いつもおくれる
いやな人**
新生活入選標語

町の立場で反対
住民と共に運動を

矢代田駅の貨車取扱いを集約することについては過ぐる昭和三十五年七月十七日の町議会に集約反対の決議を得、大口小口の荷主とも提携の上、国鉄支社に集約反対の申入れを続けて参りました。

矢代田駅はひとり小須戸町の経済門戸であるばかりでなく、隣接の白根市並び新津市の花卉園芸を含む広範な地域の経済門戸であることを力説、むしろ矢代田駅に貨物を取扱うことが、現状将来共貨物取扱いに混乱をひきおこさない賢明の策であることとの意見を具申して参りました。国鉄も一企業体として設備の近代化企業の合理化は当然考えられなければならない事であろう。しかし一面慎重に考慮願わなければならないものとして地方産業育成の問題があろうと思います。目下工業都市の地方分散が真剣に検討されている途上、地方産業に多大な不利益と不便をきたすこのような集約は私としても反対の立場をとらざるを得ません。

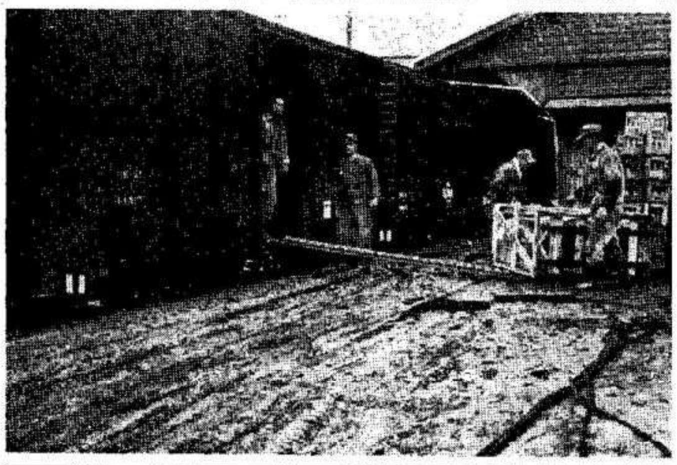
新津駅に集約された場合商工業者を始め一般町民の蒙る損害は先づ輸送費の増嵩とその撥ね返りであるがそれらについての詳しいことは他にゆずることとし、中小企業零細業者の原価計算に占める度合いを考えるとき商工業者農業者とも一丸となって、矢代田駅が集約より除外され存続されるよう具体案を考慮中であります。

今后尚推移に注目し、町民各位の協力を得て存統運動を推進いたしたいと考えておりますので一般の協力を願うものであります。（小須戸町長）

経済発展に本当に役立つか

矢代田駅での小口扱いや車扱の貨物を国鉄当局は「国鉄近代化五カ年計画」の名のもとに廃止しようとしています。国鉄側の宣伝によりますと、矢代田駅の貨物取扱い廃止によって新津駅まで出むいて利用することになります。集配料の増加分は国鉄側において負担するといっておりますが「国鉄近代化五カ年計画」の予算措置は当初の一カ年分だけ計上されているそういうところからみても決して永久に保障されているとはいえないのみか、経営上の問題ですから何時でも利用者の経費負担には**ね返**ってくることは明らかです。また関係従業員の配置転換や整理など労仂条件の悪化にもなりかねません。合理化は国鉄ばかりではなく、他のいろいろの企業においても合理化と称して政治的に強行されています。私達は合理化それ自体に反対しませんが、合理化の実施によって私達全体の労仂条件が向上し生活権が保障され地域住民の生活向上にプラスし、ひいては人類の幸福に寄与するものでなければならないと思います。然しながらこの実施によって必然的に運賃の値上げになるばかりでなく不当に利用者の不便をもたらすと同時に町産業、経済発展に重大な影響を与えるのみか国鉄自から宣伝しているサービス精神に反するものであるといわなければなりません。私達はこのようなサービス低下をきたす国鉄の貨物集約に強く反対します。私達もあらゆる機会を通じて訴えますが、小須戸町長をはじめ、町議会が小須戸町住民の利益と発展のため適切な措置を講ぜられることを強く望むものであります。

小須戸地区労議長　高橋福蔵



荷役中の矢代田駅構内

むだのない生活をするためにも

企業経営の合理化といえば非常に聞えがよく何か経済が、すごく発展するような錯覚を起されると思いますが、そのことによってわれわれ住民が不便を感じたり負担が多くなったりすることが、案外忘れられていたり或いは不満に感じても諦めている事が多いのではないでしょうか。その一事として国鉄当局で推し進めつゝある合理化五ヵ年計画の一環として打ち出されて来ている貨物駅集約がそれであります。たしかに国鉄自体からするならよいことでしょうがそのことによって受ける利害の側に立たされる一般大衆としては、割り切れない感情があるものと考えます。端的に申しますと当町にある矢代田駅も国鉄の計画によって貨物の取り扱いが廃止されるのであります。これは当町の住民にとっては大変不利益であり、不便なことであります。貨物は今度新津に集約される訳でありますが、そうなると全部新津まで運ぶことになり従って経費がかさみそれに加えてせっかくある米の倉庫や駅を中心にしたそれ等の施設が移転をしなければならなくなるか、或いはそこから集約駅まで運ぶか、いづれにかなると思います。さらに送られて来る物も配達が遅れることにもなります。町議会では反対決議をしており運動はしていると思いますがこれは一機関一組織だけの問題だけではなく、又その力だけでも不充分だと思われます。

そこでみんながそういう事情をよく認識して、存置なら存置とはっきりとみんなで意思表示をすることが必要かと思います。それには全体がまとまり充分資料を整え対策を樹てると共に強力な運動が必要であります。

尚県段階では県農業会議及び労農会議が事務局を担当して関係町村の各機関代表からなる対策会議がつくられ、併行した形で運動が続けられておりますが、当町でもこれ等の団体とも連けいをとりながら地域住民の損害をなくしてゆくような活動が是非共、この際緊急事かと考えられます。

町民のみなさん私達の生活に少しでも不利益になるような一事業体の計画には絶対に承認しないようみんなで協力して進もうではありませんか。

新潟県貨物集約反対対策委員会　栗原久平

消費者もこまる
運賃高

去る十一月二十四日の国鉄の矢代田駅貨物集約懇談会に望んで感じた事は「集約されては大変だ」の一語に尽きると思いました。これは同席した各位も御同様と思うがよく考えれば考えるほど将来いろいろの面で、極めて不都合、不経済な問題が発生する公算が強かったということであります。国鉄ではトラックの輸送量は十年前の五倍にも伸びたのに、鉄道では五%程度の伸でしかなくこれを合理化するためと称し貨物駅集約案が出されたのだそうです。人も貨物も国鉄では同一対象であると思われるのに、人に対しては信号所とか新駅設置をしていながら何故貨物に対しては逆の措置をとろうとされるのかといいたいのです。トラックの五倍の伸びの要因はどんな辺卑なところにでも取次所、連絡所や支店、出張所を設けたことによるのではないかと思っているのですが、国鉄は成績を五倍に伸ばしたトラック業者とは逆に従来のそのような大切のサービス機関を閉鎖しようとしているのです。大国鉄が己れの都合を主とし、我田引水的説明で利用者国民の迷惑も省みないかの如き、貨物駅集約は私達決して賛成できない措置と考えています。反対理由の一例をあげますなら、工場誘致の問題もさることながら現在小須戸橋が工事中のために矢代田駅の取扱貨物量は適当なものではないのですが一応三十五年度の実績は別掲の通りでありますが、これに対し矢代田～新津間の現行運賃屯当り三〇三円だそうで集約によりこれが加算されれば皆様の運賃勘定総額は四、〇五四、四〇円という膨張となるのであります。この他矢代田駅で間に合った輸送面の不都合を金に換算してみれば「集約されたら大変」ということが特にハッキリしてきます。しかもこれらのしわよせはすべてといってよいでしょうが、消費者のみなさんの負担となるのであります。

国鉄の第一次集約は全国四千駅を一千九百駅にするのだそうです。三年前から実施促進しているそうですが、今迄に集約実施されたのは六百駅〈新潟支社管内では十九駅〉が集約されただけだそうです。第一次目標達成まではまだ一千五百駅も残っているのです。三年間で六百駅の割合で集約されると考えると運動如何ではずっと将来まで持ちつづけられると考えられまたそうしなければならないと思って努力をすべきだと思います。「良いことは一日も早く悪いことは一日も遅く」と小須戸町商工業者また消費者のみなさんと白根商工会にも協力を非公式ですがお願いして、一九〇〇駅の具体化を望むと共に、当局にもお願いするものです〈商工会梅津事務〉

伸びつつある矢代田駅の貨物

それでは一体今までにどのくらいの貨物扱いがあったのでしょうか。

矢代田駅での発着年次総屯数

年次	発送	到着
34	[illegible]	[illegible]
35	[illegible]	[illegible]

三十四年度より三十五年度の内容は小須戸橋架替工事にもかかわらず五・四%の増加が、来春の橋完成後は三十五年度の二倍の集荷が見こまれる。

矢代田駅発送貨物内容明細屯数

品名	三十四年	三十五年
米	[illegible]	[illegible]
茶物	[illegible]	[illegible]
藁工品	[illegible]	[illegible]
家畜	[illegible]	[illegible]
木材	[illegible]	[illegible]
砂利	[illegible]	[illegible]
鋼材	[illegible]	[illegible]
油砂	[illegible]	[illegible]
ブロック	[illegible]	[illegible]
味噌醤油	[illegible]	[illegible]
土管	[illegible]	[illegible]
その他	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

尚三十六年度は上半期のみで、推定成績は一五、〇〇〇屯は下らない見込み。

矢代田駅到着貨物内容明細屯数

品名	三十四年	三十五年
小麦粉	[illegible]	[illegible]
生甘諸	[illegible]	[illegible]
野菜	[illegible]	[illegible]
木炭	[illegible]	[illegible]
木材	[illegible]	[illegible]
薪	[illegible]	[illegible]
石炭	[illegible]	[illegible]
磁石粉末	[illegible]	[illegible]
セメント	[illegible]	[illegible]
肥料	[illegible]	[illegible]
鋼材	[illegible]	[illegible]
工業薬品	[illegible]	[illegible]
土管	[illegible]	[illegible]
ビール	[illegible]	[illegible]
酒	[illegible]	[illegible]
醤油	[illegible]	[illegible]
鋼線	[illegible]	[illegible]
その他	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

**五日と二十日は
商店街の
一斉休日です
買物は前日に**

成人の日によせて 私は主張する

＝仕事に自信と愛着を＝

坂井節子

今日から私達は「成人」という尊いことばの所有者となりました。今までは、父母等の所有物だつたのです。しかし今は一個の独立した立派な人格をもち誰れにも所有されることのない自由な身体になつたのです。

このよろこばしき日に私は父母に深く感謝致します。また昭和二十三年から「成人の日」という祝日がもうけられ、社会の人々が若人を顧りみ若人に大きな期待をもつてくれたことは私達に勇気を与えてくれました。

学校を巣立つ日に私の人生修業は私の血肉を刻んでも修得するのだと決めました。人世処女航海に旅だつ私にとつて、この言葉はきわめて冷たいむちでしたが、このことは人間を裸体にした時が本当のすがたではないでしようか。

例えば結婚の相手を選ぶ時、あの方が進めて下さつたので私はお嫁にゆきます。後で問題が起つて困るのは自分です。このように成人者が行動した場合、他人の助言をもつて為した行為も行動の主体が自分であるため、最後の決断は自分の意志が尊重されます。だから常に自分の信条を自分で養つておきたいものですでも案外世の中は住み良いのかもしれません。二年あまりの社会経験から「人生は才能ではなく努力である」常に怠らぬ努力は私達の体の一部となつてくれるのです。才能豊かな人はその才能によつて自から人生を築くでしよう。才能薄き人は努力のはてに己の人生の主脈を発掘し、そしてその人は生まれつきの天分によつて切り開いた人生者の持たぬ別な新しい世界を努力のはてに築きあげるだろうということですこのように個性があつてこそ人性の面白味が感じられるのです。だからやたらに人のまねや背伸は禁物です。

私はこの前先生から「もうそろそろ良い人を見つけなさいよ」などと手紙をもらいました。もうそんな年頃かなとそつと顔に手を当ててみました。鏡に写つている今日の自分はなんとなく希望にふるえているようです本音をはくと私は高校を卒業して今の会社に勤めることは少しひけめを感じていました。初めは掃除、お茶出し、手伝等の雑用でした。掃除をするためには朝七時ころから出て、会社の人達が来るまでに終つておきましたまた来客なのにお湯をわかさなくてあわてたことも数回ありました。でも今考えてみますと初めの仕事が一番大切なことのように思います。というのはお客様は第一に工場に入つて来たときの感じと一杯のお茶を心こめて進めるBG、そこで安心感がわきそれが取引を良くも悪くもするということです。こう考えて行くとどんな仕事でも一つ一つが大切なのです。自分の仕事に今あらためて自信を持とうではありませんか。つらかつたことは先輩の方に電話のかけ方が悪いと皆の前で注意されその上「長く会社にいるつもりなんでしよう」とひにくをいわれた時、こらえきれずに泣いてしまいました。その時は「こんな会社はやめてしまえ」とやけになつたのですが、今思うとその時の自分があまりにもみすぼらしくてしかたがありません。職について一年位は心の動揺期で自分の仕事に疑問をもつたり、職場を変えてみたりして安定感のない時で、それがすぎると仕事や職場も自分のものとなり楽しいものです。

このように私達成人者には仕事、生活、恋愛共に自由です。（でも責任を持たなければいけませんが）して「成人」こそ尊いことばの所有者として、悔いない日々を送ることを誓います。どうかこの先も先輩の方々私達「迷える羊」を温かくみまもつて下さい。

＝私の主張＝　成人式シンポジユームより

＝義務と責任を感じつつ＝

佐藤正志

私は昨日こんなことを考えていました。あす成人式に出席する―そして私はあすから成人として、大人の仲間いりをする――しかしたつた一日違いで私になんの変化がおころうかと――でも今日ここにみなさんから祝福と期待のうちに意義ある成人式をあげて頂きますのにそれでよいのかと思い言い知れぬ緊張感を覚えました。一つは「大人となつての自覚と責任」を持つこと、もう一つは「自分で選挙権」を持つたこと、この二つの考えが私の身体に実感となつて感じられたとき私はここに初めて私のこれからの人生路に、なにか成人となることの新鮮な意味を見いだしたように思いました。それでは「おとなとしての自覚と責任」とはなにか、それは私の日日の生活の中からそして反省の中から生まれてきます。例えば誠意のないなげやりの仕事をしたり、又本人のいつたことに実行がともなわない――こんなように表現される権利だけの主張、あるいは意義を忘れた行動――これではいけないと思います。日日の生活の一日一日を立派な社会人として過ごし、自信に満ちた姿で生きて行くことが「おとなとしての自覚と責任」であると思います。

私のこれまでの生活を振り返つてみると、あまりにも無責任であり、自分自身を見つめる力がなかつたかと思います。これからの生活はこのために緊張感の連続となるかもしれません。しかし若い世代にこうした緊張感を持ち続けて行くことは有意義なことだろうと思います。こうした中で私たちの一人一人が町の先輩たちと話し合つたり、仲間づくりができたらすばらしいことだと思います。よく会の寄合や、町内での話し合いでまつたく人まかせな人がいますそしていつたん決められたことに対し陰で不平をいう。「大人としての自覚と責任」私がいまこの成人式の式場で、私のこれからの新たなる誓いとしてこう申上げました。このような無責任な人を時おり見、また時おり耳にするところからこの機会において、自から戒めたいと思うからです。

ところで私はこの日から国民の一人としての選挙権を与えられました。この選挙権を立派に行使することは私の義務であります。しかし選挙権を与えられたということと行使することとは必ずしも同一ではないと思います。選挙権を行使するということは正しく使われて始めて意味のあるものであり、それを正しく使うには、表面的ないい方であるが政治に関心を持つことで、しかしいま私たちが毎日の新聞やラジオ、テレビなどから天下国家を論じたところで、まだ勉強が足りません。それならどのようにすればよいか、私は毎日の生活の中から、身近な町づくりの政治から、友達と語り合い私たちの権利をよりよき町づくりの政治のために使いたいと思います。それは私が小須戸町の町民として町を愛するからです。町を愛することによつて町の政治を身近に感じ、正しい判断で使うことは町の発展のためになるのではないでしようか。

大切な子どもの導き方は！（続）

風間先生の講話より

愛情がもとでつくられる信頼感は、親と子が接しあつて、はじめて精神的なつながりができ、お母さんにほめられたいために快楽をすてて、きびしい現実にしたがうことによつて、安定しようというみがまえができてくるわけです。

共かせぎの一人っ子はどうしてもあまやかして育てる傾向があると、くりかえし聞かされたものですから、あまやかしてはいけないと考えお手つだいさんにもすこしきびしく育てるよう話しましたところが、どう考えても正常でない行動をするようになり、うそつきの名人になつてしまつたという例がありました。

この場合は、愛情はあるんだが、あまやかしては大変だということを強く考え、愛情をあたえることを省略し、きびしさだけあたえたため愛情によつてつながるという安定感がお子さんに得られなかつたということです。

土台ができていないところへ、きびしい現実に正しく適応するように要求するから、弱い自我をどうやつて防衛するか、その場をいかにしたらお母さんから叱られないようにするかという防衛の仕方を近道反応であらわし、お母さんの顔色に合わせて上手にうそをつくことを身につけるようになつたというわけです。

子どもに健康な社会性を身につけさせるには、外に自由に遊ばせることも又大切なことです。

入学児童検査のときに優秀だといわれた子どもが、八十四才の絶対の権利をもつているおばあさんがその子どもを盲愛し四六時中、自分のそばにおき、なんでもかなえさせてやるという快楽原理の世界にひたらせることによって、ご自分の愛玩の対象として、安定していらっしゃったわけですが、お子さんは非常にものにあきやすい、自分勝手の行動をする、人といっしよに遊ぶことができない、教室でも落つきがない、勉強しようという意慾はさらにない、ということになつてしまつてこれではお子さんの前途は暗たんたるもので、いったいどうしたらよいかというわけになりました

さいふはもちろんのこと、すべてのことを、おばあさんがにぎつていますので、子どもが学校でお金がいる場合でも、お母さんの手から渡すことができないということです。

それではお母さんと子どもとの正しいしつかりした心のつながりができません。

すでに幼児的な心理状態になつていらつしやるおばあさんですから、らくたんさせぬように上手に、子どもの将来しあわせになることを話して、子どもと一対一でつながるお母さんの立場がすこしづつでもなりたつように気ながにつとめることです。

外で自由に遊ばせることによって、お友だちとまじわることによつて興味と自信ができてくれば勉強もやるようになつてきます。

いつでもねんねさんになつていれば、おばあさんの絶対の権利のもとであらゆる欲望が達せられるという極楽浄土の生活で本人自身も、そういう段階に安定し、快楽だけの世界から現実原理の世界にのりだしていくことができず、社会の中に適応できない人間になつてしまいます。

民主主義の根本は、自我が健全であることです健全の自我の上にたつて相手の立場を尊重し、愛情と信頼感というものが背後にあって、はじめてものごとが明かるい方向に向かって解決していくことになります。

自我が未熟であると、いろいろ未熟な反応を示します。

問題の子どもというものは、決してものごとをいろいろの角度から判断したり、想像することがなく、常に自己中心であります。

現在若い人たちの行動は非常に極端であります浅沼事件や、嶋中事件のように、すぐにものごとを刃物で解決しようとしたり、飲んだくれのように勇ましいかたちで暴力を行使したりするのは自我が不健全であると思うのです。

と申しますのは、さきほど精神衛生の面で申しましたように、自我が健全であると、いろいろの角度から、いろいろの面から考えてことをしようとすることができるのです。又感情が興奮しても、その感情をおさえて理性をはたらかすことができるのですが、そのコントロールができません。

人間のたましいのよりどころという宗教がもう少し国民の中にしみこんでいかなければならぬと思います。

信仰心がなくて安定した生活はできません。なにかのかたちで心のよりどころがなければ生きていけない、そのためには、正しいところのよりどころを得るか、まちがったよりどころを得るかということになりますが、立派な国の運命も、世界の運命も信仰できまるのではないかと思う時に、私ども家庭においてちいさいときから宗教心を育てあげたり、正しい指導をすることが非常に大事なのではないかと思うのです。

（完）

印鑑登録の変更について

昭和三十五年四月一日より当町では印鑑条例が施行され、実施してきましたが条例改正により次のような印鑑は、登録することができませんのでお知らせするとともに、旧条例（昭和三十五年四月一日以前）により登録されている次のような印鑑も本年（三十七年）四月一日から印鑑簿から除かれますので、旧条例によつて登録されておる印鑑は、三十七年三月末日までに新、旧の印鑑を持参の上改印（登録変更）の手続きをとつて下さい尚詳細は係（戸籍係）におたずね下さい。

○条例抜萃（参考）

第八条

町長は次の各号の一に該当する場合は印鑑の登録をすることができない

一、戸籍簿又は住民簿に記載されている氏名、名又は氏及び名の一部の組合せたものであらわされていないもの（名については漢字、ひらがな又はかたかなに替えられているものを除く）

二、職業等他の事項をあわせてあらわしているもの。

三、ゴム印その他印形の変化しやすいもの。

四、印形の大きさが一辺の長さ二センチメートルの正方形に収まらないもの。

五、印形の照合が困難と認められるもの。

六、保証性が疑がわしいもの。

七、登録申請が本人の意思によらないと認められるもの。

八、外人の場合は外国人登録原票に記載されている氏名又は氏もしくは名をその文字であらわしていないもの並びに第二号から七号までの規定に該当するもの

九、禁治産者が申請したもの。

附　則

1．この条例は昭和三十五年四月一日から施行する。

2．この条例施行の際、現に登録してある印鑑はこの条例により登録したものとみなす。

但し第八条に該当する印鑑は、この条例施行後二年以内に第六条の規定により登録変更申請（改印）をしなければ印鑑簿から削除する

中学校卒業式 近づく

小須戸中学校卒業式は例年通り、三月十七日の予定である。今年は、思わぬ台風の被害の為、運動場も全くつかえぬ状態となつているので、小学校の体育館を借用して、挙行する予定であるが、いつものような、はなやかさは、のぞめぬかわりこの苦しいなかで、最後の数ヵ月をすごしてきた生徒達（三百三名の予定）の苦難にめげぬ、力強い出発が期待されている。

今年卒業生の大体の進路は

全日制進学	一三〇名	四三%
就職	一一四名	三八%
県外就職	六三名	
県内〃	五一名	
自家	四七名	一五%
その他	一三名	四%

中学校 卒業記念品 チャイムにきまる

毎年、中学の卒業生は何かしら、母校に記念品をのこして自からの思い出とすると共に、後輩へのはげましとしてきたが今年も、いろ〳〵と話し合いを重ねた結果、美しい音を出す、チャイムに決定した。これは、あらかじめ定められた時刻に美しいウエストミンスターの鐘の音をひびかせるもので、今の予定では、朝、昼、夕方の三回ならす予定である。今の放送設備だと、相当に遠方まで、聞こえる予定なので町民の皆さんにもたのしい時刻を知らせるひびきとなることと思う。

図書室だより

公民館図書室では例年三月下旬、年度末図書整理のため、十日間ほど借出しをやすませていただいていましたが、読者のべんぎを考え、整理方法を変えることになりましたので、休むことなく平常通り続けることになりました。

借りられた図書の期間がきれても、なかなか返本されません。忘れていることもありますので、部屋のあたりをもう一度さがしてください。

月二十円の保証料は読者の都合もあって、むりにとは申しませんが、半年か一年分まとめてくださるとこちらも手数がはぶけて大変助かります。

新年句会

小須戸町俳句同好会

書き初めのよき墨匂う朝机　水月
新雪の帯目立ちて初詣で　杏水
元朝や雪無く雨戸開け放つ　香月
寒紅を濃ゆく言葉の少なけれ　山葵
藪入りや母思う娘のサロンパス　一陽
初雀群るゝ寺院の大いらか　竜朗
風花に街ゆく赤い宣伝カー　流水